

2022年度 第13回大規模災害対策セミナー

『地球温暖化時代にグローバルに変わる災害環境と 災害対策関連 NPO の今後のあり方について』

次 第

- セミナー名：2022年度 第13回大規模災害対策セミナー
『地球温暖化時代にグローバルに変わる災害環境と災害対策関連 NPO の今後のあり方について』
- 主催：特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構 (CDR)
- 日時：2023年3月2日 (木) 14:00～17:00
- 会場：マイドームおおさか 8階第3会議室
- 内 容：

世界では、地球温暖化による気候変動によって、豪雨、台風、干ばつ、異常な高温による山火事など、今までにない大きな被害をもたらす災害が多発している。日本でも、豪雨などの異常気象による災害のニュースを毎年目にするようになり、災害対策や防災・減災への意識が高まっている。また、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、私たちの都市が持つ脆弱性も浮き彫りになった。

近年は経済の急激なグローバル化によって、とくに開発途上国における貧困化の進行、観光業の発展による大量の人の移動、大規模な灌漑施設の整備・過剰揚水等による土地の荒廃など、地域における災害に対する脆弱性が増大しているところも多い。

国連が掲げる「SDGs(持続可能な開発目標)」では、未知の災害が多発していることを受けて、「災害に強い街づくり」がターゲットの一つになっている。

地球温暖化への対応として講じられる適応策は、それぞれの地域の自然および社会・経済システムを十分に把握した上で、実施されなければならない。このようなグローバルな環境変化や災害現象に対して、私たちが自分や家族の命を守るためには、どんなことができるのか。について考える。

また、災害対策関連 NPO や研究機関のあり方、望ましい活動とは何かという観点から、我が NPO 法人 大規模災害対策研究機構 (CDR) が今後どういう活動をすべきか、何をなすべきか、どうあるべきか、という点について、3名のパネリストと会場来場者参加型の討論会を開催する。

- プログラム
 - 14:00～14:05 開会挨拶（CDR 河田理事長）
 - 14:05～15:05 講演「地球温暖化時代にグローバルに変わる災害環境
～現行の SDGs は不十分だ～」
講師：河田恵昭氏（CDR 理事長）
 - 15:05～15:15 休憩
 - 15:15～17:00 討論会「災害対策関連 NPO の望ましい活動のあり方について」
 - 15:15～15:45 話題提供：高橋智幸 氏（CDR 副理事長）
 - 15:45～16:15 話題提供：越村俊一 氏（CDR 副理事長）
 - 16:15～17:00 討論会「災害対策関連 NPO および CDR の望ましい活動とは・・・」
パネリスト：河田恵昭氏、高橋智幸氏、越村俊一氏

- 講師・パネリスト：
 - 河田恵昭氏：関西大学／理事、社会安全学部社会安全研究センター長／特別任命教授、
CDR／理事長、京都大学名誉教授
 - 高橋智幸氏：関西大学／副学長、社会安全学部／教授、CDR／副理事長
 - 越村俊一氏：東北大学災害科学国際研究所／教授、CDR／副理事長

- CPD：1.73 単位（参加実時間：2.75 時間）
※パスワード：cdr-02032023

【事務局】

特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構（CDR）事務局
〒531-0074 大阪市北区本庄東 2-3-20 ㈱ニュージェック研究開発グループ気付
(TEL) 06-6374-4420
(FAX) 06-6374-5038
E-mail：cdr@newjec.co.jp
<http://www.e-tsunami.com/>